

令和4年度第3回学校運営協議会、学校関係者評価委員会、コンプライアンス委員会
議事録

令和5年2月22日(水) 9:30~11:00
天竜特別支援学校 視聴覚室

1 出席者

(1) 委員

尾関ゆかり氏、石田雄士氏、出沢茂氏、坪井康人氏、奈良志保氏

(2) 学校関係者

校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高学部主事、訪問主任、教務課長

2 内容

(1) 校長挨拶

・コロナ制限があったが、概ね行事を行うことができた。卒業式は来賓のメンバーを縮小して実施する。

(2) 本年度の学校経営の反省について(校長)

「守る」

- ・道徳教育について数多くの学びがあった。
- ・様々な訓練を実施した。スムーズな学校再開に向けて御協力をお願いしたい。
- ・各種マニュアルがあるが、マニュアル通りにいかないことがある。訓練ごとに修正を加えている。今後も継続して改善していきたい。

「育む」

・OJTの取組み

教職員面談で成果有の教職員が非常に多かった。来年度も力を入れていきたい。

・ICT機器の活用

一人1台タブレットを導入し授業で活用している。天竜病院のWifi環境が整い、来年度からタブレットを活用し、病院とオンライン授業ができるようになる。教職員の情報活用能力を高めていきたい。

・整理図を基にした実践

文書作成業務が教員の負担にならないように、力を注いでいく

・一人一授業

教科指導力が必要な学校なので、総合教育センターの教員の力を借りながら、本校教員の指導力を更に高めていく。

「つなげる」

・みゅうの丘等の外部機関を活用した教育活動

地域とのつながりをさらに深めて、関わりを増やしていきたい。

・他機関との連携

本校の役割の重要性を理解してもらえるよう、個別の教育支援計画を活用し、原籍校や保護者、進路先と連携を深めていきたい。

「チーム」

・退勤時刻

年度当初は20時以降も残っている職員が多かったが、昨年度よりも意識が高く

なり、自分が設定した時刻に帰宅できるようになってきている。

- ・行事や手続き

業務の見直しをし、効率化を意識して業務に取り組んでいきたい。

- ・会議

だいぶ会議が精選されてきている。会議の回数や紙面配付を減らすようにしている。

(3) 保護者・病棟のアンケート結果について（教務課長）

- ・評価が高かったのは、個別の教育支援計画を通して学校と連携ができた点である。今後も引き続き、誰が見ても分かる個別の教育支援計画の作成・説明に心掛けていきたい。

- ・評価が低かった参観会、懇談会、個別面談等の回数や日時については、要望があればいつでも個別に時間を設定して対応していく。また、子どもが学習に意欲的に取り組めるための工夫の面では、研修を積み、ICTや教材教具を活用し、生徒が「わかるできる」を実感できる授業を目指していきたい。

- ・病棟のアンケート結果から、学校と病棟で十分な連絡が取れていなかったと感じる。しっかり連携してサポートしていけるように、日々の授業の前後で話をするなどして人間関係を作っていきたい。

(4) 高3生の進路状況について(高主事)

※進路先・進路状況の説明

(5) 意見助言等

委員A…原籍校との連携は非常に大切だと常々感じているが、原籍校は「天特に通うと治る(完治する)」と考えている。ここのギャップを埋めていくためには、さらに福祉、教育、医療と連携し、入院治療の理解に広げていく必要がある。天特は、進学を目指せる特別支援学校。ここは非常に魅力だし、生徒にとって希望が持てる。就労移行の生徒も、気を緩めることなく、次につなげていけるように丁寧にやっていきたい。

委員B…校長から「成果目標がもう少し高くてもよかったのでは」という言葉があったが、成果目標を明確にして、「〇〇までできていればOK」という内容を職員にきちんと伝えていくことが大切。天竜病院職員のアンケート内容を今後に生かすことができれば、具体的な改善ができるきっかけになるのではないかと。

就労移行支援事業所…生徒にはどういうイメージなのか。

学 校…就職するための専門学校・予備校的なイメージであると伝えている。学校活動の中で様々な見学、体験を進めている。保護者説明も行っている。

委員B…その説明ではイメージが持ちづらいような気がする。

学 校…中には「こういう仕事をしたい」「この仕事につきたい」という強い希望をもっている生徒もいる。興味関心が強い分野への進路を希望する生徒に対しての進路指導では、進路先を変えるということが非常に難しい。

学 校…3年で進路を決めるのは難しい。就労移行等でさらにプラスアルファで学べる期間が必要になる生徒もいることを御理解いただきたい。

委員C…保護者アンケートでA、B評価が大半を占めている。指導も個別で的確に行われている証拠である。保護者にとって安心できる環境になっている。

委員D…児童生徒の安全・人権が学校内で確保されている。人権は基本であるので、継続

して行ってもらいたい。また、職員同士が思いやりを持って支えあう雰囲気
高め合っていてほしい。コロナ禍で、なかなか気軽にコミュニケーションが
取りにくい状況である。今後対応が変化していく中で、教員間の会話を密にし
ていく工夫をしてほしい。

教科指導については、小中学校の研修会への参加、授業実践の研究を通して、
自分の力を高めていくことが大切。それを自分の指導に生かしていくようにし
ていくとよい。

進路については、生徒自身が自分のやりたいことについて興味関心をもつこ
とが一番大切。高校生は「なりたい自分」や「なんのために働くのか」を早め
に考えていく指導が重要。教師は、得意なことや良さを発見してあげて、伝え
ていく必要がある。

委員E…チームについて、先生方は毎日大変。先生方も早く帰れるように保護者として
も協力したい。

進路については、本当はもっとゆっくり進路を考えていきたい気持ちは正直あ
る。先生方が生徒・保護者に寄りそって指導してくださっていて、感謝してい
る。

(6) 来年度の学校経営計画について(校長)

※令和5年度学校経営計画、グランドデザインの説明

(7) 指導助言等

委員D…5月にコロナが5類となるが、県から指示があるか。

教育目標はすぐに言える目標でよい。

学 校…コロナ対応は、学校の事情に合わせて対応することになっている。本校は天童
病院に教職員が出入りするため、そちらと連携して対応していく。

委員A…天特を巢立っていった児童生徒が関わっている機関とのつながりを意識したり、
前回の学校運営協議会で出た意見を反映して、目標等に組み込んでくださって
いたりしてありがたい。

委員B…大変よい目標になっている。コロナが5類になってから、対応がより大変にな
るのではと思う。

委員C…教育目標が分かりやすくなっていてよい。

委員E…分かりやすい目標、合言葉がとてもよい。

学 校…地域とのつながりを深くしていきたい。教職員にも伝えていく。

(8) 本年度の不祥事根絶の対策報告(副校長・各学部主事)

学 校…職員間の連携が希薄になっているが、人間関係づくりのグループ活動を行
った。お互いを知る機会になった。もっとやってもよかったかなと感じてい
る。人権チェックシートを年3回実施。教職員が振り返れる時間を確保した。
交通安全標語コンクールを行った。静岡県警交通課の方に来校いただき、交通
安全意識を高めた。グループワークを数多く行い、不祥事を自分事として捉え
られるようにした。「話しやすい関係づくり」をし、「ストレスをためない」た
めの工夫に来年度も力を入れていく。

学 校…到着時刻が遅れそうなどときには、交通事故を起こさないように年休取得を積極
的に呼びかけたり、メンタル(人間関係)ケアのために自分から話し掛けたりし
た。ブロック長会で学部教員の体調を確認したりした。話題作りのために、美味

- しい弁当を注文した。みんなで助け合って、同じ方向を向いて指導してきた。
- 学 校…学部会で県行動規範を読み合った。
風通しの良い職員間づくりを目指し、主任者会で職員の体調を確認した。
学部会資料に脳トレ、職員の興味あることを掲載して、雰囲気づくりに努めた。
- 学 校…お互いの退勤予定時刻を朝確認し合って、お互いの忙しさを気かけ合い、早い退勤を継続して行えている。
出張が多いので、出かける前にアルコールチェックを行い、開始時刻・終了時刻をホワイトボードに記載している。
職員の家族がコロナに感染し、助勤が必要な場合、職員方から自主的に助勤に入ってもよいという声上がる。
- 学 校…個別の交通安全目標を毎月確認している。早く退庁できるよう、主任が率先して帰るようにしている。

(9) 意見助言等

- 委員D…交通事犯は忘れたところにやってくるので、繰り返し行っていくことが大切。変化球を入れながら、継続をお願いしたい。職員関係では、「納得と意欲」が大切、納得すれば意欲につながる。
- 委員E…先生方いろいろ工夫されている。
- 委員C…様々な取り組みをなされていることがよく分かった。
- 委員B…新卒の職員が職場に悩みを吐露できなくなっている。コロナ世代の職員へのフォローをより丁寧に行えと、不祥事根絶に繋がるのではないか。
- 学 校…教育現場でも休職教職員が増えている。初任者や異動1年目などの新しい環境で仕事をする方がそうなることが多い。早めに対応できるように気を付けていきたい。
- 委員A…自分の職場でもできることがあればと思って聞いていた。「ヒヤリハット」が起きた職員には、報告のみでなく、精神的に追い詰められていないかを考えて対応するようにしている。交通安全標語を作る活動も非常に良い。帰ったらやってみたい。
- 学 校…本校は児童生徒への対応が難しい教育現場。教職員が余裕をもって対応する必要があるので、フォローし合いながら教育活動に臨めるように工夫し続けたい。

(10) 校長挨拶

本年度からスタートした学校運営協議会、来年度も継続してお願いしていきたい。